

施策コード	4-5
-------	-----

中心所管課	農林水産課
関連所管課	

第4章	にぎわいと元気あふれるまちづくり -産業-							
基本施策名	5 水産業							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
水産物出荷額(各漁業協同組合魚類取扱高)	万円	113,600	94,955	944,679	113,600	113,600	  	
主力水産物等取扱高	万円	16,700	16,754	17,051	16,700	16,700		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 水産業への理解と魅力ある水産業の実現	魚食普及・食育の一環として地魚料理教室及び毎月17日『地魚の日』の啓発活動を実施した。地産地消の推進、地元水産物の消費拡大を図った。	地産地消の推進のため、魚料理教室等を実施し、地元水産物の消費拡大につなげる。魅力ある水産業を実現するため、関係機関と連携し、水産振興に努めていく。
2 後継者の育成支援と経営基盤の安定	新規漁業就業者確保に向け、将来独立・自営を目指す研修生を募集し、令和5年度から2名が研修開始予定である。漁業経営の安定化に資する補助事業の実施した。	新規漁業就業者の確保や漁業の経営の安定化を図るため、水産振興事業の促進に努めていく。
3 「育てる」漁業の推進と干潟や藻場の多面的機能の発揮	漁場環境保全活動及び抱卵ガザミ放流事業の実施した。	干潟や藻場等の地域資源の機能維持・回復を図る取り組みに対する活動支援交付金の交付を実施し、漁場環境保全活動の継続に努めていく。
4 ブランド化の推進と情報発信	がまごおり撰魚のPR及び毎月17日『地魚の日』の啓発活動の実施した。	がまごおり撰魚としてブランド化した水産物のPR及び毎月17日は『地魚の日』であることを周知し、地元水産物の消費拡大につなげる。

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	水産物地産地消事業委託料	110	110	魚食普及・食育の一環として地魚料理教室及び毎月17日『地魚の日』の啓発活動を実施	魚食普及を目的に小学4年生から6年生の親子を対象に魚料理教室を実施する
		0.1			
2	蒲郡市新規漁業就業者支援補助金	0	1,728	新規漁業就業者確保に向け、将来独立・自営を目指す研修生を募集し、令和5年度から2名が研修開始予定	新規漁業就業者の確保に向けた取り組みを継続する
		0.1			
2	船底塗装推進事業費補助金	1,920	2,500	経営改善のため、省エネ対策の推進、燃油削減を目的とした船底塗装の取組に対する補助を実施(補助件数:59件)	経営改善のため、省エネ対策の推進、燃油削減を目的とした船底塗装の取組に対する補助を継続する
		0.1			
2	漁業用具整備事業費補助金	1,720	2,000	水産振興を図るため、漁業経営の安定化に資する漁業用具等を新たに購入する経費に対する補助を実施(補助件数:27件)	水産振興を図るため、漁業経営の安定化に資する漁業用具等を新たに購入する経費に対する補助を継続する
		0.1			
2	漁村活性化総合対策事業費補助金	1,718	2,850	漁港施設の安全性の向上及び漁獲物の高鮮度化による魚価単価向上を目的とした整備事業に対する補助を実施(補助件数:4件)	漁港施設の安全性の向上及び漁獲物の高鮮度化による魚価単価向上を目的とした整備事業に対する補助を継続する
		0.1			
3	活動支援等交付金	452	750	干潟や藻場等の地域資源の機能維持・回復を図る取り組みに対して活動支援交付金を交付	干潟や藻場等の地域資源の機能維持・回復を図る取り組みに対する活動支援交付金の交付を継続する
		0.1			
3	抱卵ガザミ放流事業委託料	380	380	ガザミ資源の維持増大と漁家の経営の安定を図るため、共同漁業権内で抱卵ガザミ育成放流事業を実施	ガザミ資源の維持増大と漁家の経営の安定を図るため、共同漁業権内で抱卵ガザミ育成放流事業を継続する
		0.1			

総括評価	成果	水産物が食卓に上がる機会が減少しているため、魚食普及を目的に地魚料理教室及び毎月17日『地魚の日』の啓発活動を実施し、地産地消の推進、地元水産物の消費拡大を図った。漁業者の高齢化や後継者不足などにより、漁業者が減少しているため、新規漁業就業者確保に向け、将来独立・自営を目指す研修生を募集し、令和5年度から2名が研修開始予定である。各種補助事業を実施し、漁業経営の安定化を図った。漁場環境保全活動を実施し漁場環境の機能維持・回復を図った。
	課題	漁業者の高齢化や後継者不足に加え、水産資源の減少や水産物の消費量が減少により、水産業の衰退が懸念されている。
	今後の方向	重要な産業の一つである漁業への理解と魅力ある産業に向けて、「海のまち がまごおり」の情報を発信し、水産振興対策に取り組んでいく。新規漁業就業者の確保、漁港施設の整備、漁場環境保全等につながる取り組みを関係機関と連携し実施する。